

第一分稿

水戸心斎堂 研究部

茨城県原子力安全協定推進協議会総会における講演会

趣味と人生

特に切手収集について

平成7年7月19日 水戸

東大名誉教授（原子力工学）

ミヤマ ヨシツグ

三島 良績

本務の原子力40年、金属50年の片手間に切手趣味と草野球を65年やってきた私の70年余りの人生から、切手集めを例にとり、仕事と趣味、趣味と人生についてのお話をしようと思います。

切手収集は小学校へ入るか入らぬ頃の昭和の初めに、祖父が今世紀初めに欧州へ医者として留学した時の外国来信の束を祖母から見せられその外国切手を剥して貼ったのがはじまりで、ずっと世界中の切手は1枚でも多く集めるというゼネラル・コレクションですが、特に昨今は気に入った30余ヶ国くらいに重点をおいて、自分の生まれた頃（1920）から70年のその国の切手を全部集めることに集注しています。〔英、独、東独、仏、伊、スイス、オーストリア、リヒテンシュタイン、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク、ルクセンブルク、スペイン、ベルギー、オランダ、ソ連、ロシア、チェコ、スロバキア、ハンガリー、ポーランド、フィンランド、ユーゴ（クロアチア、セルビア）、ラトビア、リトアニア、エストニア、CIS15国、米、カナダ、国連、韓国、中国、日本、ブラジル など〕

専攻は昭和12年以降の日本の通常切手（昭和切手）と切手の製造技術で、共に著書も多く、この2件の専門家として外国の会の役員にされたり、全日本切手展覧会の中央審査員を昭和25年からつとめ、昨今は審査委員長、又日本切手の発行、製造に意見をいう郵政審議会専門委員を昭和34年から勤めています。切手の会では切手文化会の前会長、日本原子力切手研の会長で、東大切手研究会創立（昭和22年）創立者のひとりです。

2015年 20年後のあなたへ
インターネット

ホスター: 久米宏

三島 良績

1. 原子力に関する切手

「原子力関係の切手」だけ集めるというやり方はトピカルコレクションといわれ、日本原子力切手会はこの人々の集まりです。（創立11年、小生会長）私は特に原子力切手の専門収集はしていませんが、前述のように世界中集めているので、原子力切手も大抵持っています。その中から若干をゼロックスでお目につけ、そのあらましをご紹介します。（図版参照）

来る10月20～26日東海村の図書館に開放される原子力資料室で原子力切手展があり、日本原子力切手会でお手伝いして世界の原子力切手のほとんど全部を展示しますからご覧ください。

又、今月原子力切手会から『世界の原子力切手のチェックリスト』が刊行されました。（〒共1部1,000円）

2. 原子力40年の仕事の合間に切手を集めていたら、

- I) 世界数十ヶ国の収集家と直接文通して交換したので友人が出来、外国出張する時に訪問、案内もしてもらって便宜が大きかった。
(特に東欧圏時代)
- II) 第二次大戦前のハイティーン時代の文通相手を戦後訪問した。
(カリフォルニアの二世の女性、ラトビアの女性、共に50年後の訪問)
- III) PAの話や仕事などに切手の話は気分をほごすのに有効。
- IV) 直接原子力の開発に役立った例もあり、
 - a) J P D R 被覆管の外表面キズ、標準試料作成に切手の原版彫刻技術を導入
 - b) 被覆管破裂様相研究での表面水玉もようエッチにグラビア製版技術を導入
 - c) 一般論として切手のこまかいことをしらべ、そのデータを基に推理して、そのかげにある事象を究めるという“切手研究の本筋”は科学的目を養うのに役立つ。

例：ニセモノの鑑定、製造時のミスで出来たものから原因推定、
郵政関係犯罪捜査に協力

3. 人生と趣味

大別して現役の間と定年後の余生とに分けてお話します。これからは日本では後者が大切でしょう。趣味で大事なことは何でそんなことをやるのだと他人に言われるような徒労にみえる努力の道程を楽しむ心掛けで、心の利で十二分ですから物質的の利を求めてはなりません。

I) 現役のうち

- ◎余暇の善用、気分の転換
- ◎適当な努力目標を設定しその達成に努力する過程を楽しむ
- ◎収集趣味は継続しなくてはダメですし、集めたものは必ず整理し、いつでも参照出来るよう分類して収蔵しなくてはダメ。
- ◎切手だけでなく、いろいろのものを集めるのもよいが限度を決めないと収拾がつかない。旅行の記念ならば多彩なものを集めた方が写真アルバムに加えると後に面白い記録になる。
- ◎日本の新切手を蓄財用に買い込むことはダメ
- ◎定年後有用になるものを始めておくこと

II) 定年後

- ◎あり余る時間の消費に役立ち、ひとりでやれる趣味
- ◎本格的の集め方には関係なく、老人の体力、視力でやれることで楽しむことを考える。
- ◎適当に同好の士と夫婦いっしょにつき合う。文通は大いに可。
- ◎子供が独立し老夫婦だけになった余生に共通の話題のある趣味を現役時代からつくっておく。
- ◎切手収集が2代つづくことはないから遺産としては無価値の方が面倒でない。

私はいままで、本式の集め方の指導者でしたが、これからは定年後始める方のご相談にのれるようにしようと考えています。

以上